



111 boulevard Beaumarchais 75003



“merci” (メルシー)で「泳げ石鱈のタイヤキ君」



パリで人気のセレクト・ショップ “merci” は子供服ブランド “Bon Point” を立ち上げたご夫婦が自分たちの気に入った商品を集めたというお店。ここでショッピングして、ロンドンからやって来たオーガニックの “Rose Café” でランチやお茶するのが一時はパリで人気でした。今もそうかなあ～？
京都の型染友禅ブランド Pagong (パゴン) 亀田社長をご案内がてら半年ぶりにメルシーに行ってみると、入ってすぐの吹抜スペースに、真っ赤なタイヤキが沢山ぶら下がってる～！ 亀田社長は「アッ、これやこれや、滅茶苦茶パリで売れたタイヤキ石鱈！ こんなカッコイイ店で売れてたんや～」とビックリ仰天。でももっと驚いたのは、タイヤキ石鱈の下に並ぶ日本の商品でした。



今時もう日本では見かけないし、一般家庭では使わなくなってしまったような商品が沢山売られてました。





こんな山盛りのタワシ、今じゃ日本でもなかなかお目にかかれなくなりましたよね！

赤羽の商店街へ遊びに行った時、小さな雑貨屋さんで同じタワシを見つけて「きゃあ～懐かしい！」と騒いだ記憶が... まさかパリのメルシーで再会するとは夢にも思いませんでした。

これって茶箱ですよね！？
日本のどこで売ってるんでしょうか？
フランス人なら、中にアペリティフ用のお酒やグラスを入れ、トップにはガラス板を乗せて、アペリティフ・ケース兼テーブルとして使ったりするんじゃないかなあ～
サロンの真中に置いて、きっと友達に自慢しつつ、日本文化のウンチクを語りそう...

